

# 2023年度小児がん啓発イベント実施報告

国際小児がん Day（2月15日）に合わせて  
2月17日に小児がん啓発イベントを開催しました。  
2020年2月以来コロナ禍で開催を見送っており、  
実に4年ぶりの現地開催となりました。  
会場は横浜駅東口地下そごう前の新都市プラザ催事  
スペースで、「みんなで知ろう 小児がんのこと！」  
をテーマに、種々のイベントを行いました。  
オープニングとして、当院の職員で結成された  
「Swing for Kids」によるブラスバンド演奏が  
行われました。たくさんの一般の方々が、足を止め  
てその演奏に聞き入り、音楽に合わせて体を動かして  
いる子どもたちも見受けました。

**小児がん啓発イベント**  
～2月15日は国際小児がん Day～

**みんなで知ろう、小児がんのこと!**

小児がんは、年間2000～2500人の子どもが診断されています。病気になっても、子どもたちの成長・発達への影響が最小限になるように、治療やケアの体制づくりがされていますが、子どもや家族は治療中のみならず、治療後もたくさんのお悩みに悩まされています。このイベントを通して、より多くの人々が小児がんのことに関心をもち、地域で生活する小児がんの子どもや経験者、その家族の支えになる人が増えることを期待しています。

**日時** 2024年2月17日（土）12時～15時  
**場所** 横浜新都市ビル（そごう横浜店）地下 2階正面入口前  
**テーマ** 「みんなで知ろう、小児がんのこと！」

**プログラム**

- (1) 小児がんの子どもへの応援メッセージ（パネル展示）
- (2) 小児がん患者の専業主婦「MY NEW LIFE」（ビデオ上映）
- (3) 小児がんの子どもたちの絵画展（がんの子どもを守る会）
- (4) 小児がんに関する知識の普及啓発（情報パネル展示、チラシ配布）
- (5) フットサルで遊ぼう（一般社団法人 Ring Smile）
- (6) ミニコンサート（こども医療センター職員バンド Swing for kids!）
- (7) 健康チェック体験（血圧年齢測定）
- (8) 健康体操「おなかげんき体操」（かながわ健康財団）
- (9) Amazon ガチャガチャコーナー

**お問い合わせ** 神奈川県立こども医療センター 小児がん相談支援室  
TEL: 045-711-2351（代）（平日 8:30～17:15）

主催 神奈川県立こども医療センター（横浜市南区六ツ川 2-138-1）  
公益財団法人かながわ健康財団（横浜市中区富士見町 3-1）  
協賛（学名）：子どもセンター東京・公益財団法人がんの子どもを守る会・Amazon  
一般社団法人みんなのしんこメール・オブ・キッズ・その他  
Ring Smile・認定NPO法人スマイル・オブ・キッズ・その他  
共催（学名）：神奈川県がん・医療対策センター、横浜市医療福祉がん・医療対策課



会場では、入院中や外来通院中の子どもや  
家族の一部に書いていただいたメッセージも  
掲示し、小児がんの子どもや家族へエールを  
送ってもらおうと、参加いただいた皆さんに  
メッセージを書いて頂きました。応援の絵を  
描いてくれた子どもたちもいました。寄せら  
れた約 200 のメッセージは、病院内で掲示さ  
れています。

また、神奈川健康財団さんによる「おなかげんき体操」では、職員も含め楽しく体を動かして参加している様子がみられました。



ゲストとしてみんなのレモネードの会の小児がん経験者の方に絵本の朗読や、ご自身ががンを患い2020年に旅立たれたフットサル選手久光重貴さんの弟・邦明氏による小児がん応援活動フットサルリボンから、子ども達のフットサル体験会を企画していただき、多くの子ども達やご家族が足を止めお話を聞いていたり、フットサルに参加して楽しんでいました。常設コーナーでは、がんの子どもを守る会による「小児がんの子どもたちの絵画展」、チェコセンター東京から提供いただいている、チェコの腫瘍学博士の考案で写真家により撮影された、小児がんの子どもの写真展「MY NEW LIFE」から「Modeling」も展示させていただきました。病気や治療の影響を受けても自分らしく生きる患者の姿が印象的でした。



また神奈川赤十字センター、リラの家、ちあふあみ!、横浜こどもホスピスからリーフレットなどの配付と活動紹介、レモネードの会から風船のプレゼント、Amazon からガチャガチャのプレゼント、かながわ健康財団からは血管年齢測定のプレゼントがあり、多くの方々が楽しんでくださり、メッセージも書いてくださる姿もありました。



今回は AYA 支援コーナーもパネル展示し、3月の AYAWEEK の告知や当院職員によるメッセージを書いたAYAフラッグも展示させていただきました。

ブラスバンド演奏時の観客は周囲を取り囲み階段にまで及んでおり、おそらく100人前後の観客数でにぎわいました。メッセージも約200程度集まり、多くの方々に小児がんを知ってもらう機会となりました。